令和５年度　全国学力・学習状況調査の結果について

令和５年10月　松原市教育委員会

今年4月に、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に文部科学省による「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

市教育委員会では、これまでの結果分析から見えてきたことを基に、子どもたちにとってより分かりやすい授業づくりに関する取組みを進めてきました。また、各校での授業の様子を把握し、参考となる授業や学力向上につながる取組みを市内の学校に広げてきました。

そして、今年度の分析結果を下記のとおり、保護者や地域の方々にお伝えするとともに、今後の教育施策や学校の取組みに活かすことにより、本市教育を一層充実させていきます。

市教育委員会・学校としましては、この学力調査の結果を真摯に受け止めています。

ただし、この結果のみで子どもたちのすべてを評価するものではありませんし、調査による序列化や競争を目的としたものではないことを十分にご理解いただきますようお願いいたします。

１．調査の概要（文部科学省）

(1)調査の目的

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2)調査の対象

○　小学校及び支援学校小学部　6年生

○　中学校及び支援学校中学部　3年生

(3)調査の内容

○　教科に関する調査

小学校：国語・算数

中学校：国語・数学・英語

※平成 24 年度から理科を追加。理科は3年に1度程度の実施。

※平成 31 年度（令和元年度）から英語を追加。英語は3年に1度程度の実施。

※平成 31 年度（令和元年度）から「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式で実施。

○　質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査